

中国 雲南省昆明市

北京事務所所長補佐 牛丸 剛一（高山市派遣）



雲南省は古くから中国と東南アジアや南アジアを結ぶ重要な中継地であり、東洋文化と西洋文化の接点です。2000年あまり前に存在した「西南シルクロード」は、かつて四川省から雲南省を経由して、東南アジア、中央アジアやアラビア地域と西洋諸国へと伸びる重要な交易路となっていました。

概況

雲南省は略称を「滇」と言い、中国南部の雲貴高原に位置しています。南東部は貴州省、広西チワン族自治区に隣接し、北東部は金沙江を隔てて四川省に連なり、西部はチベット自治区に接しています。また、西はミャンマーと、南はラオス、ベトナムと国境を接しており、四〇六〇kmの国境線を有しています。東西の長さは八六四・九km、南北の長さは九九〇km、総面積は中国国土面積の四・一%を占め、三九・四万km²（日本とほぼ同じ）あり、中国の省、自治区、直轄市の中でも八番目の大きさです。省内には、八つの民族自治州と八つの省轄市があり、その省都が昆明市です。

昆明市は、一市、五区、八県から成り立っています。市の総人口は五〇九万人、総面積は約二・二万km²（東京都の約一〇倍）です。市内の中心海拔は一八九二mあり、年間の平均気温は一五度と一年を通じて暖かいため「春城」、常春のまちと呼ばれています。また、昆明市は、湿度、日照時間、霜期間が短いため、植物の生長に適しています。そのため、切花の生産量は、中国全土の約六割のシェアを占めており、重要な産業の一つとなっています。

また、昆明市は、海外との交流も盛んで、神奈川県藤沢市のほかにもチューリッヒ市（スイス）、シェーウェン市（モロッコ）、デン

バー市（アメリカ・コロラド州）、ワグガワグ市（オーストラリア）、コチャバンバ（ボリビア）、チェンマイ市（タイ）、マンダレー市（ミャンマー）、ニュープリマス市（ニュージーランド）、チッタゴン市（バングラデシュ）など一〇都市と友好姉妹都市提携を行っています。

市内にはラオス、ミャンマー、タイ、カンボジア、マレーシア、ベトナムなど六つの総領事館があり、国際的な窓口としての一面を持っています。

少数民族

二〇〇七年度の統計によると、雲南省の総人口は四二七〇万人。そのうち少数民族の人口が省の総人口の三分の一を占めている、少数民族が最も多い省です。人口五〇〇人以上の少数民族が二五もあり、そのうち、一五は雲南省特有の民族です。

しかし、昆明市内ですれ違う多くの人々は普段、民族衣装を着ていないため、何族なのか聞かなければ外見から判断することはできません。

昆明の歴史

昆明の歴史は古く、旧石器時代の三万年前には既に市内南部にある滇池（中国で六番目に大きい湖）の周辺には人が住んでいました。二五四年にフビライの派遣したモ

ンゴル軍により、当時南詔国^{なんしやうこく}の都であった鄯闡城^{せんせんじやう}が占領されました。その後、一二七六年に雲南行省が設置され、鄯闡城は昆明県となりました。

日本と雲南との交流はかなり以前から始まっていた、一四世紀、日本の僧九人が雲南省の大理を訪れ、仏教寺院で仏法と漢文を学び、これらの僧が入寂^{にやじやく}した後、現地の白族^{ばいぞく}が彼らを白族の神の山―蒼山に葬り、日本をはるか望む東向きの墓塔を建立したことが史料に記載されています。

観光戦略

(1) 昆明市は、中国でも有名な観光都市であり、自然景観として西山公園(龍門)、九郷(鍾乳洞)等の名勝地が数多くあります。中でもカルスト地形で有名な「石林」は、二〇〇七年六月二七日に世界自然遺産に認定されました。これは、雲南省で「麗江古城(注1)」や「三江併流の保護地域群(注2)」に次いで三番目、中国国内では、二四番目の世界遺産となります。

ちなみに、「麗江古城」は中国人気観光地ランキングにおいて海南省三亜、四川省九寨溝についてベスト3に入りました。

(注1) 麗江市の旧市街地(一九九七年認定)
(注2) 雲南省北西部を流れる金沙江(長江上流部)、瀾滄江(メコン川上流部)、怒江(サルウィン川上流部)が平行に流れる、独特の自然地理区域を指す(二〇〇三年認定)

(2) 昆明市は、前回二〇〇四年に行われたア



↑麗江古城

テネオリンピックで金メダルを獲得した女子マラソンの野口みずき選手が高地トレーニングを行った地として記憶されている方も多いのではないだろうか。ほかに海外の有名サッカーチームがキャンプを行ったりしています。

また、昆明市にはアジアでも有名なゴルフ場があり、日本、韓国、香港からのゴルフファアが数多く訪れます。このゴルフ場は標高が高い場所であり、普段より一〇%ほど遠くにボールが飛ぶため人気のスポーツになっています。

(3) 昆明市では、中国国家旅游局が中心となつて開催する「二〇〇七中国国際旅遊交



↑石林

易会(CITM2007)」が二〇〇七年二月一日(木)〜四日(日)までの期間に行われます。これは、中国では有名な旅行見本市であり、上海市と昆明市で交互に開催されています。

過去の実績

- ① CITM2005 (雲南省昆明市開催)
 - ・ 出展者…八一の国・地域から三二〇〇団体に参加
 - ・ 来場者…約七万人
- ② CITM2006 (上海市開催)
 - ・ 出展者…九一の国・地域から二三〇六団体に参加
 - ・ 来場者…約七・五万人

このように昆明市は、観光に力を注いで

おり、今後ますます国内外からの観光客が見込まれる地域となっています。

発達する交通網

昆明市には、昆明国際空港があり国内外合わせて一〇〇以上の路線を開通しています。

日本からは、一九九九年に昆明市で開催された世界園芸博覧会を機に大阪―昆明の直行便が開通し、二〇〇〇年には日本から昆明へ向かう観光客は延べ二万四〇〇〇人に達しました。

一時この直行便が停止したため、日本からの観光客数が大幅に減少しましたが、二〇〇六年二月に再開し、二〇〇七年一―五月に雲南省に訪れた日本人観光客数は延べ六万人以上に達し、昨年同期に比べて五五％増と順調に観光客数が増加しています。また、開発が進んでいる昆明からミャンマーへの国際道路（二〇〇七年中に完成予定）や昆明からシンガポールを結ぶ国際鉄道（建設中）などにより空路・陸路ともに充実し、昆明市は、東アジアと南アジアを連携する経済貿易の中心地となつてきています。

湖を活かした取組み

昆明市では、一九八〇年代後半からの人口増加と経済発展に対応するため、市内にある滇池を中心とした「二湖四環」という

取組みを行っています。

①湖を取り囲むように全長二四kmの環状道路を建設（約八六億元の投資を行う）

②新しいまちづくり（湖の沿岸部を東西南北の四つのエリアに分け、開発を進める。この新しいまちの計画人口は、四五〇万人を想定している）

③排水溝敷設・鉄管埋設や下水処理施設を建設（生活排水や工場排水が増え湖の水質が悪化したため、日本の円借款事業〈第一期と第二期を合わせて約二三〇億円〉による水質改善を行う）

また、今年度は当協会の自治体国際協力専門家派遣事業（注3）により水環境保護の専門家を昆明市に派遣し、技術交流を図る計画があります。

④湖の生態環境を改善（開発によって開拓された田・畑を湖に戻し、護岸整備と緑化の推進を行う）

この政策により昆明市内中心部への人口集中による渋滞緩和や湖の水質改善を行い、



↑昆明市内



↑滇池湖畔

住みよいまちづくりを目指しています。

（注3）日本の自治体関係者が有する技術や知識を国際協力の分野で有効に活用し、海外の現地における技術力の向上や人材の育成に寄与するため、海外の地方自治体等の要請に基づいて、自治体国際協力専門家として派遣する事業。（一九九八年度から実施しており、二〇〇六年度までに中国・東南アジア地域に五二人の専門家を派遣）

おわりに

昆明市は、西部大開発政策の進展により、地域の特性を活かし、隣接する国との边境貿易を積極的に行っています。好景気に沸く中国において今後、経済・観光を中心とした発展が期待されている地域の二つとなっています。